

私は、入学した時は今思うと人に興味を持って
いけなかった。カウンセリングを学びに来たおかしなけど、
当時の私は「自分を犠牲性にして他人の辛い気持ちや
グチを聞くことが「好きで得意」と思っていた。でもそれは
「自分も大切にしたい、私が存在感を感じるために相手
に関わっていただけ」ということを授業・セミナーを通じて
知った。「いい人」を演じて本当は自分のことで手一杯。相手へ
の思いやりのない私を知った。そもそも「愛情・思いやり」を
どこかバカにしてきた自分に気付いた。

入学・卒業・その後のセミナー等で合わせて3年程ですが、
あ、かり「自分のため」に通いました。授業を通じ私に気付
くことで少しおう変わる。どんな自分であって、
先生や仲間は「私」を「私」として見守ってくれること。個人では
滅亡に経験できなかった海外研修では、体感で「愛情・
思いやり」を経験できた。そして、相手のペースで生きてきた
私は、「私の人生を歩もう」と思えるようになり、私を大切
に感じられると その分相手も大切に感じられるようになった。
人に受け止められ、「私」を認められること、思いやりを持って
接してもらえることが、成長するパワーにつながることを
実感でき感謝しています。そんな温かい気持ちを持ち
続けられるよう、与える側にたいよう、私は精進したい。